

宮崎県物産貿易振興センター NEWS

Miyazaki Prefecture Products Trade Promotion Center News Paper

Vol.32



▲会場の様子 ▲高千穂夜神楽 ▲会場の様子 ▲モノの販売

「みやざき物産館」の6・7月の売上

みやざき物産館の6月・7月の売上は前年比20%減となりました。6月前年比23%減、7月前年比10%減という内訳です。

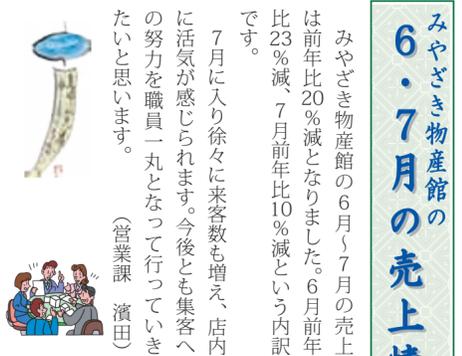
7月に入り徐々に来客数も増え、店内に活気が感じられます。今後とも集客への努力を職員一丸となって行っていきたいと思っております。(営業課 濱田)

去る4月29日にリニューアルオープンした「みやざき物産館」では、軒下にオーニングテントを設置し県産材のベンチも増設、屋外イベントによる賑わいや憩いの場として活用することにしました。

この軒下空間を活用した屋外イベントを看板の「み」の下のマルシェ」と名付け、いろいろなイベントを展開しています。

6月24日からは、「み」の下のマルシェ」の第1弾として、シーガイアのキッチンバスが初登場し、カレーやクレープなどを販売。サラリーマンがテイクアウトしたり、家族連れがパラソルの下で食事するなど、賑わいを見せました。

会員の皆様もぜひ、ご活用をお願いします。(お問い合わせ：営業課)



TOPICS 「み」の下のマルシェ 開催

去る4月29日にリニューアルオープンした「みやざき物産館」では、軒下にオーニングテントを設置し県産材のベンチも増設、屋外イベントによる賑わいや憩いの場として活用することにしました。

この軒下空間を活用した屋外イベントを看板の「み」の下のマルシェ」と名付け、いろいろなイベントを展開しています。

6月24日からは、「み」の下のマルシェ」の第1弾として、シーガイアのキッチンバスが初登場し、カレーやクレープなどを販売。サラリーマンがテイクアウトしたり、家族連れがパラソルの下で食事するなど、賑わいを見せました。

会員の皆様もぜひ、ご活用をお願いします。(お問い合わせ：営業課)

毎度ありがとうございます!

センター職員紹介

4月に県の総合交通課から当センターの企画課に配属になりました松吉(まつよし)と申します。

私の所属する企画課は、広報宣伝や貿易、工芸品振興、物産展の企画の一部など、範囲が幅広いこともあり、センターに来て、はや4ヶ月も過ぎるというのに、まだまだ勉強の毎日であります。

1日も早く会員の皆様のお役に立てる仕事ができるよう精一杯取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

企画課長 松吉 浩

今年の4月に上海事務所長に就任しました佐々木です。これまで物産や観光の仕事に携わったことがなく、毎日わからないことばかりで右往左往しています。

上海での宮崎の知名度が低いこともあり、昨年12月にオープンした上海アンテナショップは多少苦しい状況にありますが、皆様のご協力を仰ぎながら、宮崎県産品の販路拡大に少しでも貢献したいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

上海事務所 所長 佐々木 大吾

(スタッフからの一言) 沈着冷静で温厚な松吉課長です。県において経験した交通や観光業務等を通じて豊富な知識を持っています。センターニュースの編集長も担当しており、センターと会員の皆様との情報の架け橋として心強い存在です。(河野)

(スタッフからの一言) 今年4月より佐々木新所長の下、新体制となった上海事務所。手探りで業務を行う事も多い海外事務所において、スタッフの状況を常に気に掛ける思いやりのある所長です。海外では色々な事が起こりますが、頑張って行きましょね!(中原)

発行 社団法人 宮崎県物産貿易振興センター
〒880-0804 宮崎市宮田町1番6号 県庁8号館
TEL: 0985-22-7389 FAX: 0985-22-7497
URL: http://www.m-tokusan.or.jp/
E-Mail: info-00@m-tokusan.or.jp

「フード台北2011」に「宮崎県ブース」を初出展

去る6月22日(水)～25日(土)までの4日間、台湾台北市で開催された国際食品見本市「フード台北2011」に宮崎県ブースを初出展しました。

主催の台湾貿易センター(TAIRA)の発表により、出展24ヶ国、地域に対し、来場者数は50,460人(うち台湾国内バイヤー45,350人)でした。日本貿易振興機構(ジェトロ)が設置した日本パビリオンには、日本から50企業・団体が参加し、うち本県からは水産加工品、菓子、漬物、調味料、酒類などの食品・飲料メーカー16社が出展しました。

現地商談成約があるなど、今後の海外展開に向けての課題が見えてきた出展者など、反応は様々でしたが、台湾への販路拡大を目指す意義な初出展となったのは有意義な初出展となったのでは無いでしょうか。当センター等、出展企業のアフターフォローに努めたいと思っております。(企画課 立山)

▲日本パビリオン 50企業・団体が参加 ▲宮崎県ブース 6社が出展

新宿みやざき館 KONNE 通信

6月の売上は、30,015千円(前年比73.8%)と前年を大きく下回りましたが、昨年のイレギュラーな条件を差し引くと、かなり復調してきたと言えます。

7月に入ってからは、来店客数も順調に推移しています。商品別に見ると、連日暑い日が続いていることもあって塩飴や、節電モードとも重なって火を使わなくても調理出来る冷や汁の売れ行きが好調です。

また7月から8月にかけて、恋旅企画・ちきん南蛮の日・ビールフェア、更には店内イベント等お客様に楽しんで頂くこと、さまざまな企画を実施しています。いずれも物販・軽食・観光の共同企画として盛り上げます。特に恋旅企画は、各売り場でお買上のお客様に短冊を渡したところ、皆さん嬉しそうに願い事を書いて笹に付けていただきました。今年の夏は、宮崎へ行ってみたい企画で大いに盛り上げます。

▲ひでじビールフェア ▲宮崎恋旅コーナー

みやざき物産館 デイストアプリリニューアル

みやざき物産館では、7月から館内とショールームを夏の装飾にしました。

8月までは季節感あふれる夏らしいさわやかな展示をしています。

今年度のテーマは、「飛び立つミヤザキ」メインディスプレイには全国にミヤザキの物産品を届けられるようにとの願いを込めて、大空に飛び立つ飛行船「物産館号」をトータルビジュアルにし、立ち昇る雲と夏の煌めきを表現しています。

また入口の両脇にあるショールームでは、宮崎県産品と観光スポットの紹介をしており、さらにはソフメッセ日南にあるモアイ像をイメージした帽子や花で夏らしさを表現しています。

ウインドウは年に4回変わりますが、商品を宣伝するだけでなく、訪れる方の心をもてなし、その都度楽しんでいただけるような作品を提案していきたいと思っております。(企画課 相川)

上海事務所のご紹介

上海事務所は、2002年の開設から昨年度まで租界時代の西洋建築で有名な外灘エリアにありましたが、2011年4月に上海中心部の人民広場エリアに引越しをしました。また人員体制につきましても、昨年度までは県庁からの駐在員が1名と中国人スタッフ2名の3名体制で業務に取り組んでおりましたが、今年度から宮崎銀行より1名派遣を受けて、日本人2名、中国人2名という体制で業務に取り組んでおります。

私どもは、県産品の販路開拓支援、県内企業の貿易促進支援、観光・コンベンションのPR、中国(香港を含む)現地での一般経済社会情勢の情報収集を主な業務としています。

中国関係の調査依頼やサポート案件がございますらお気軽に連絡してください。

▲上海事務所スタッフ 左から 高、中原、佐々木、沈 ▲事務所内の様子

七夕フェア・お中元フェアを開催

7月6日(水)みやざき物産館の店舗外イベント「み」の下のマルシェ」の一環として「七夕フェア」を開催いたしました。

当日はあいにく雨で、店舗内での開催となりましたが、八幡保育園の23名の年長園児さんたちに七夕の歌をうたっていたり、短冊を笹の葉にかけてもらったりと楽しんでいただきました。

また、観光ポスターには、「恋の短冊ポスター」を設置し、宮崎旅のPRを行いました。

7月1日(金)から8月15日(月)までの日程で「お中元フェア」を開催しました。(営業課 牧野)

産館を目指して、いろいろな企画を行っていきたく思います。(営業課 牧野)

▲お中元フェア

新商品開発支援事業がスタートしました

消費者ニーズの多様化・高度化に加え、地域間競争が激化する中で販路拡大のためには、他との差別化や付加価値化を図る必要があることから、商品開発・改良への意欲の高い事業者を対象に、ターゲットを明確にした商品づくりを目的として『新商品開発支援事業』を実施することになりました。

3月に募集を開始し、16の企業や団体から応募があり、県産品アドバイザーや専門機関等(以下「アドバイザー」等)との個別面談・企業訪問等を行った結果、8事業者うち1団体を含むを決定し、商品開発を進めていくこととなりました。

今後、宮崎県産の素材を生かした特色ある商品づくりを進めていくため、年間6回の企業訪問の機会を十分活用して、アドバイザー等からいただいたアドバイス内容に基づき改善・改良を行い、魅力ある商品を開発していきたいと考えています。(営業課 鬼束)

コープ九州事業連合商談会

平成23年7月7日にコープ九州連合との商談会を開催致しました。今年5月にコープ九州事業連合が来県され、みやざき物産館で販売している商品をご覧いただき、短い時間でしたが、各社熱心に自社の商品をアピールされ、コープ九州連合・韓国分・韓国分クリエイト九州の方々からも質問、アドバイスがあり、充実した商談が行われたのではないかと思います。(営業課 濱田)